

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	090										
事務事業名	生涯学習事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	05	目	01	事業	04		
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課		担当係	社会教育係															
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)										根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)									

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	生涯学習社会の実現に向け、時代の変化に対応しながら市民の学習活動を支援しているが、講座・教室への若年層の参加が少なく、魅力のある企画の実施が課題となっている。さらに各施設において公民館まつりや音楽コンサート等のイベントを開催し、心のゆとりと共に自ら学習する意欲と能力を引き出し生涯学習の総合的推進を図ることが課題である。										誰・何を対象に	常総市市内在住・在勤者									
											どのような方法・手順で	社会教育施設(学習センター、地域交流センター、公民館等)を利用し、講座や演劇・音楽・特別企画展を開催する。ポスター、チラシや広報、ホームページを活用してPRする。									
望ましい状態											一人ひとりのライフスタイルや地域、年齢、興味に応じたものを企画し、誰もが積極的に参加ができる学習機会を提供し、多くの市民が参加している状態。										

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	講座受講者数	単位	人	目標値	900	目標年次	2021	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	過去の受講実績を勘案した数値とした。									

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。											
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度												
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量										
事務事業を構成する主な業務	① 生涯学習講座・教室	35講座		① 生涯学習講座・教室	32講座		① 生涯学習講座・教室	21講座													
	② 公民館まつり	5会場		② 公民館まつり	6会場		② 公民館まつり	7会場													
	③ 公民館バスハイク事業	8地区		③ 公民館バスハイク事業	4地区		③ 公民館バスハイク事業	4地区													
	④ 坂野家住宅お月見コンサート	1回		④ 地域交流センターリニューアルイベント「親子映画会」	1回		④ 坂野家住宅お月見コンサート	1回													
	⑤ 陸上自衛隊東部方面演奏会	1回		⑤ 坂野家住宅お月見コンサート	1回		⑤ 茨城県警察音楽隊サマーコンサート	1回													
	⑥ ねばねば音頭常総バージョン	1回		⑥ 茨城県警察音楽隊コンサート	1回		⑥ 海上自衛隊横須賀音楽隊演奏会	1回													
	⑦ 青少年の家グラウンドリニューアルイベント・日ハム野球教室	1回		⑦ 映画「ピリギヤル」の上映及び講演会	1回		⑦														
	⑧			⑧ 映画「サクラ花」の上映及び落語・トークショー	1回		⑧														
	⑨			⑨			⑨														
	⑩			⑩			⑩														
	⑪			⑪			⑪														
	⑫			⑫			⑫														
目標値に対する実績値		819 人		目標値に対する実績値		562 人		目標値に対する実績値		395 人											
決算額	計	2,471,459 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	2,471,459 円	計	3,880,572 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	3,880,572 円	計	1,689,710 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	1,689,710 円
		(住民一人あたりの行政コスト)		41 円		(住民一人あたりの行政コスト)		64 円		(住民一人あたりの行政コスト)		28 円									

5 担当者評価 ㉒										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	成果内容	受益者負担の原則にもとづき、平成30年度より講師謝礼等についても受講者の負担としたため、講座も、よりニーズの高いものに厳選した。また、前年度に開講した講座が、修了後において自主サークルとして活動を開始するなど、継続する講座数が減少したことにより受講者数も目標未達成の結果となった。しかし、学習機会の提供をきっかけとするサークル化は、受講生の学習意欲の向上といった当該の目指すべきところであり、今後も、学習ニーズの高い講座の開講に努め、修了後のサークル化の促進に向けた支援も継続しつつ、受講者の増加を図ります。																
問題点	平日昼間の時間帯の講座は、受講者の年齢層が高い傾向にある。幅広い年齢層が受講できるよう、夜間や土日の開講など講座時間を検討する必要がある。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	講座開催費の参加者負担を進めつつ、講座内容の質の向上を目指す、全体的には現状維持とした。																		

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度										
事業内容	●生涯学習講座の開催 親子講座、婚活、教養、料理、音楽、健康、趣味、伝統文化、夏休みの宿題お助け隊、歴史(全10回内2回は茨城県県立歴史館より派遣講師)、文学、(40講座) ●公民館事業 公民館まつりの開催 公民館バスハイクの開催 ●地域交流センター、生涯学習センター自主事業の開催 親子映画会 ●坂野家住宅 お月見コンサート ●宝くじまちの音楽会				●生涯学習講座の開催 親子講座、婚活、教養、料理、音楽、健康、趣味、伝統文化、夏休みの宿題お助け隊(40講座) ●公民館事業 公民館まつりの開催 公民館バスハイクの開催 ●地域交流センター、生涯学習センター自主事業の開催 親子映画会 ●坂野家住宅 お月見コンサート ●音楽コンサート				●生涯学習講座の開催 親子講座、婚活、教養、料理、音楽、健康、趣味、伝統文化、夏休みの宿題お助け隊(40講座) ●公民館事業 公民館まつりの開催 公民館バスハイクの開催 ●地域交流センター、生涯学習センター自主事業の開催 親子映画会 ●坂野家住宅 お月見コンサート ●音楽コンサート										
	成果指標	指標名	講座受講者数	単位	人	目標値	900	指標名	講座受講者数	単位	人	目標値	900	指標名	講座受講者数	単位	人	目標値	900

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の数額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。効率化を図りつつも、魅力ある講座となるよう市民ニーズを把握し開催すること。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕																			
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	市民が学習意欲の湧く魅力的な講座の開催と、受益者負担の原則に則した運営方法へ移行できるよう努め継続すること。																		

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	受益者負担の原則に則り、講師謝礼等を参加費として徴収をする。また、講座参加者にアンケートを実施して、市民ニーズにあった講座を開催しサークル化及び自主運営を進める取組を行う。																		